

BTCからのお知らせ

日高育成総合施設 軽種馬育成調教場の施設紹介

“調教場のタイム計測装置”

今回は、日高育成総合施設軽種馬育成調教場にある様々な規模の馬場の中で2つのコースに設置されているタイム計測装置について紹介したいと思います。

屋内坂路馬場（全長 1,000m）

冬期の積雪・馬場の凍結に関係なくトレーニングを行う目的で建設された全長 1,000mのパーク + ウッドチップによる全天候型馬場です（写真 1）。当初、全長は 700mで幅員は約 7mの坂路でしたが、平成 18 年に 1,000mに延長されました。延長部分は、既設の直線 700m（走路の幅員 7m、帰り馬道の幅員 3m）のスタート地点から後方のグラス馬場の方へ 300m付け足したことにより、地形上カーブを描いて既設部分に直結します。幅員約 3mの帰り馬道があります。

走路の勾配は、スタートして 350m地点までは勾配がなく平坦です。坂路を上がるにつれて段階的に強くなり、南西方向に 2.5%（200m）、3.5%（350m）そして最後は 5.5%（50m）の上り勾配になっています。

タイムの自動計測は、スタートしてから 150～750m間の 3 ハロン分できます。監視室は従来のものは取り壊され、新旋回場の横に設置しました。監視室内とゴール地点の馬場内にタイム表示のモニターが設置されています

（写真 2, 3）。なお、新旋回場は八角形のドーム状（直径 30m）で、新しいスタート地点になっています。馬場内のスタート地点にテレビモニター1台が設置され、カーブ部分からの映像を映し出しており、騎乗者が走路上の安全確認を行えるようになっています（写真 4, 5）。また、監視室には 6 台のモニターが設置されており、監視カメラからの映像により調教の様子を見ることができます（写真 6）。

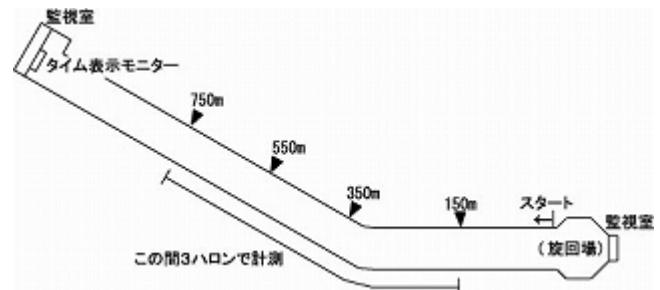


写真1. 屋内坂路馬場



写真2. 屋内坂路ゴール地点



写真3. 屋内坂路ゴール地点のモニター



写真4. 屋内坂路スタート地点



写真5. 屋内坂路スタート地点のモニター



写真6. 屋内坂路監視室モニター

屋内直線馬場（全長 1,000m）

屋内坂路馬場と同様に、気象の影響が少なく通年的に使用可能な全天候型のウッドチップ馬場です（写真 7）。走路の幅員は約 7m の直線 1,000m 走路が、西側走路（駆歩専用コースで南から北方向への一方通行）および東側走路（常歩・速歩コースで交互通行）の 2 走路あり、その中央は仕切られています。直線走路の始めと終わりの部分には 12 角形の丸く膨らんだ旋回場が南北方向にあります（写真 8）。タイムの自動計測装置は駆歩専用走路に設置され、3 ハロンの計測ができます。また、南北旋回場にはそれぞれタイム表示モニター（写真 9）が設置され、北旋回場の監視室には大型モニター（写真 10）が設置されています。



写真 7. 屋内直線馬場



写真 8. 屋内直線馬場旋回場



写真 9. 屋内直線馬場旋回場のモニター



写真 10. 屋内直線馬場監視室モニター